

青山学院大学生による インターンシップ (成果報告会) 12月19日

青山学院大学の学生が「10年後、20年後も九島としてあり続けるために今からしておくべきこと」をテーマに調査をした内容を報告する「成果報告会in九島」が九島公民館で行われました。

学生からの発表は11月20日に青山学院大学で行われましたが、お世話になった九島の住民にも報告をするために、発表会の様子と学生からのメッセージを収録したビデオを公開し、本事業を担当した青山学院大学 高橋教授が概要を説明しました。

学生の発表では、「人口減少を抑制するためにグリーンツーリズムという手法を用いて観光客を増やすことが必要」という結論のもとに、観光客を増やすための具体的な取り組みの事例が提案されていました。

※実地研修についての内容は、広報うわじま10月号P1「表紙」・P7「まちのわだい」に掲載しています。

東京でPR！ 「愛媛・宇和島マルシェ」 12月11日～13日

宇和島市の地域活性化パートナーであるANAグループの協力により、ゲートシティ大崎(東京都品川区)で、「愛媛・宇和島マルシェ」が開催されました。

マルシェ開催期間中には、旬のミカンや真珠、じゃこ天などの特産品の販売などで宇和島のPRを行い、会場は多くの来場者で賑わいました。

また、授業の一環で6月に宇和島を訪れていた埼玉女子短期大学の学生の皆さんも宇和島市の見どころ案内と真珠の手づくりジュエリー販売のコーナーを設置し、宇和島のPRに協力しました。



夢と責任を胸に 900人が大人の仲間入り 1月2日

平成26年成人式が南予文化会館で行われ、平成5年度生まれの719人が出席しました。



出席者は成人としての自覚と責任を感じながらも、夢に向かう決意を新たにしました。

新成人を代表して、石川 将文さんが記念品を受け取り、田邊 綾さんがお礼の言葉を述べました。

式典の後に上映された中学生時代の映像では懐かしい思い出がよみがえり、校区ごとに行われた記念撮影では、久しぶりの友人たちとの再会を喜びました。



戸島・嘉島の健康を見守って30年 国交省表彰 12月13日

離島振興法制定から60周年となった昨年、離島地域において産業振興や教育・文化、医療・福祉、交通、まちづくりなどの分野で多大な貢献をした個人や団体を顕彰する「離島振興60周年記念功労者表彰」が行われ、宇和島市からは戸島診療所長の木村 隆徳医師が国土交通大臣表彰を受賞しました。

木村医師は、松山市のペテル病院副院長などを歴任した後、1987年に2年以上常勤医師が不在となっていた戸島診療所へ着任しました。その後、約30年間に渡り戸島診療所での勤務、さらには、そこから4.9キロ離れた嘉島診療所への週3回の出張診療を行っています。



石橋市長は、「島民の安全・安心のために、今後ともよろしくお願ひします。」と激励の言葉を送りました。